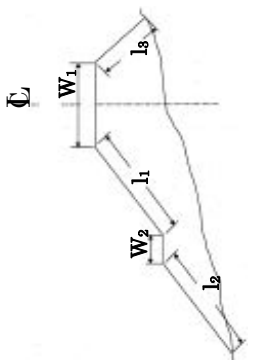
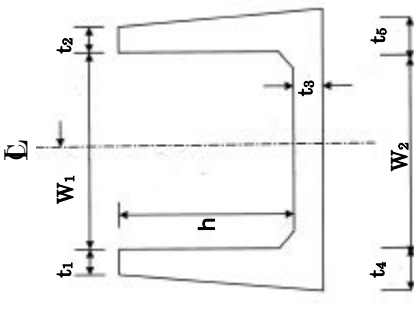


出来形管理基準及び規格値 第24編 ため池編

：出来形管理図表を作成する。
 ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	規格値
24 ため池編	1 ため池	4 堤体工			堤体工		基準高	±100
							堤幅 w1 ~ w2	天端幅、小段幅等 - 100
							法長 l1 ~ l3	- 100
							施工延長 L	- 200
24 ため池編	1 ため池	7 洪水吐工	2		洪水吐工		基準高	±30
							厚さ t1 ~ t5	±20
							幅 w1 ~ w2	±30
							高さ h	±30
							施工延長 L	- 150
							スパン長 l	直線部 ±20 曲線部 ±30

測定基準	測定箇所	摘要
1. 施工延長20mにつき1箇所の割合で測定。 2. 一施工単位 2 個所以上測定。		1. 綱土の幅は、盛土高1 m 毎に管理する。 2. 測定は原則として水平距離とするが、法長の場合は斜距離とする。 3. 出来形測定と写真は同一箇所で行う。 4. 出来形図は、横断面図を利用して作成する。
1. 施工延長1 スパンにつき1 箇所測定。 2. 箇所単位のものについては適宜構造図の寸法表示箇所を測定		スパン長の標準を 9 m とした場合

出来形管理基準及び規格値 第24編 ため池編

：出来形管理図表を作成する。
 ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	規格値
24 ため池編	1 ため池	8 取水施設工	2		樋管工		基準高	±30
							厚さ t	-20
							幅 w1~w2	-20
							高さ h	-20
							施工延長 L	-150
24 ため池編	1 ため池	8 取水施設工	4		ゲート製作据付工 (土砂吐ゲート等)		基準高	±30
							厚さ t	-20
							幅 w	-20
							高さ h	-20

測定基準	測定箇所	摘要
1. 施工延長10mにつき1箇所測定。 2. ジョイント間隔については、1本毎に測定。 3. 箇所単位のものについては、適宜構造図の寸法表示箇所を測定する。		1. 基準高は管底を原則とする。 2. コンクリート二次製品の場合同様に定めること。 3. 底樋がトンネルの場合、別途定めること。 4. 斜樋等付帯構造物の、基準高は、取水孔(ゲート中心)の標高とし、高さは斜面直角方向とする。
1. 施工延長10mにつき1箇所測定。 2. 一施工単位2箇所以上測定。 3. 箇所単位のものについては適宜構造図の寸法表示箇所を測定。		